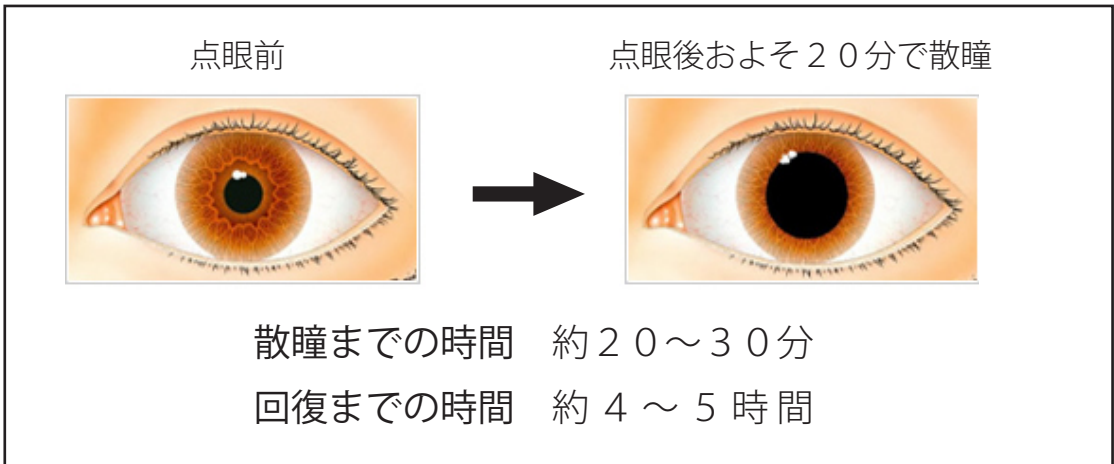


## 散瞳（さんどう）検査

瞳の大きさは、明るい所で小さく、暗い所で大きくなります。  
眼の中に入ってくる光の量を調整するためです。  
瞳が大きくなった状態を「散瞳」といいます。

眼の奥を検査するため、目薬（散瞳薬）によって散瞳させます。



目薬で散瞳すると、元に戻るまで4～5時間かかります。  
個人差がありますが、時間とともにだんだんと元にもどります。

### ご注意ください！

- ☆ 大きくなった瞳から光がたくさん入ってくるので、とてもまぶしくなります。  
(サングラスをご用意していただくと、お帰りの時まぶしさが軽減されます)
- ☆ ピントが合わせにくくなり、手元が見つらく細かい文字が読めなくなります。  
(大切な事務仕事や勉強などがあるときには、散瞳検査は避けましょう)  
(買い物も、値札の文字がよく見えないので、避けた方がよいでしょう)
- ☆ 車やバイクの運転は危険です。まぶしさを強く感じ、またぼやけて見えるので、ご自身で運転することは避けて下さい。歩いて来院されるか、付き添いの方に運転していただけるようお願いいたします。

散瞳検査は、お時間がかかりますので、  
午前は11：00まで、午後は17：00までに  
来院して頂くようお願いいたします。